

令和2事業年度

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

事業報告書

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

目 次

第 1 事業の概要

- 1 木材輸出状況について..... 1
- 2 高付加価値木材製品輸出促進事業（林野庁補助事業）..... 2
- 3 木材製品等の輸出促進対策事業（令和元年度林野庁補助事業（補正）、繰越）
..... 1 0
- 4 日本産農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業（令和 2 年度農林水産省補助事業（補正））..... 1 3
- 5 分野・テーマ別海外販路開拓支援事業のうち分野・テーマ別の PR 活動・販売促進活動推進事業（農林水産省補助事業）..... 1 4
- 6 輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業（令和元年度農林水産省補正）..... 1 6

第 2 総務に関する事項

- 1 理事会について..... 1 8
- 2 定時総会について..... 1 8

第1 事業の概要

1 木材輸出状況について

令和2年の木材輸出は前年の微減から回復し、輸出総額は357億円(対前年比3.2%増)となり、一昨年まで6年続いた輸出増加の勢いが戻るとともに、平成以来で最も大きな輸出額となった。

国別では、中国が前年と同額の170億円(前年比7.0%増、シェア47.7%)、フィリピンが65億円(同12.7%減、同18.2%)、米国が38億円(同40.9%増、同10.7%)、韓国が30億円(同3.2%増、同8.4%)と、この4カ国で全体の85%を占めている。

主な品目別では、丸太が163億円(前年比11.1%増、シェア45.8%)、製材品が70億円(同11.9%増、同19.7%)と増加した一方で、合板は58億円(同10.8%減、同16.2%)と減少した。

また、木製家具及び木製腰掛けの輸出額は40億円であり、前年比では8.3%減少した。

令和2年の木材輸出を巡っては、年初から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大等により、特に木材の大輸入国である中国での対応措置の影響を受け3月までは日本からの輸出にも大きなブレーキがかかったが、4月以降は中国内の各都市のロックダウンの解除に伴う生産活動の回復により、日本からの輸出も丸太輸出を中心に急速に回復した。また、米国では、住宅市場の活況を受け、スギフェンス材輸出が6月以降は従来のペースをかなり上回って推移した。このように令和2年後半からは、木材輸出額は前年比を上回るペースで回復し、最終的には輸出総額は前年を上回ることとなった。

令和3年の第1四半期における木材輸出は、主要3品目である丸太、製材、合板とも引き続き好調に推移している。

当協会は、農林水産物・食品の輸出額を2025年までに2兆円、2030年までに5兆円という政府の輸出額目標が設定され、その目標の達成に向けて政府と各品目団体が一体として取り組むことが求められる中、日本産木材製品にかかる輸出促進の取りまとめ団体として、木材産地・事業者及び関連業界団体・機関とタイアップして、平成2年度は以下の事業に取り組んだ。

2. 高付加価値木材製品輸出促進事業（林野庁補助事業）

付加価値の高い木材製品の輸出促進を目的として、（１）企業連携型木材製品輸出促進モデル事業、（２）日本産木材・木材製品の普及・PR 事業、（３）輸出規格環境整備・設計施工マニュアル作成事業、を実施した。

（１）企業連携型木材製品輸出促進モデル事業

同業種・異業種や地域内・外など複数の企業が水平・垂直に連携した、波及効果の高いモデル的な木材製品輸出の取組について、以下のとおり支援を行った。

令和2年4月27日から5月27日まで本事業の公募を行い、14件の応募があったところ、「企業連携型木材製品輸出促進モデル選定委員会」において、「審査選定基準」に基づく審査を経て、「企業連携型輸出促進モデル事業」として以下の8件を採択した。

採択した企業連携型輸出促進モデル事業の概要

取組事業名	実施グループ (中核企業)
中国における木のモデルルームの施工と販促活動 ・ 現地でのモデルルームの整備 ・ モデルルームを活用したデモンストレーション ・ 現地での商談活動	中国向け住宅・非住宅の木材利用推進グループ (丸武木材(株))
台湾向け大川木工製品の販売促進 ・ バイヤーの招聘と商談会の開催 ・ 現地ニーズの調査 ・ PR ツールの整備と配信	木工万能産地大川台湾事業推進プロジェクト (一財)大川インテリア振興センター)
韓国向けヒノキ等製品の販売促進 ・ 高ニーズの輸出商品の試作とECサイトの構築 ・ 現地でのミニ展示と商談会の開催 ・ 現地バイヤー向け市場見学会の開催	Hinoki to KOREA プロジェクト (ヤマガタヤ産業(株))
欧州向け吉野材製品の販売促進 ・ PR ツールの作成 ・ フランスでの展示活動 ・ オーストリア等での展示とセミナーの開催	吉野材輸出グループ (一社)大和森林管理協会)

台湾向け高性能建材活用住宅の輸出促進 <ul style="list-style-type: none"> 台湾適合住宅仕様の設計 高性能木製建材利用説明会の開催 商談会の開催 	台湾向け高性能建材を活用した住宅促進グループ (越井木材工業(株))
中国向け木造軸組部材の輸出推進 <ul style="list-style-type: none"> 施工マニュアルの作成 木造軸組部材利用 PR 活動 商談会の開催 	木造軸組部材輸出推進グループ ((株) くまもと製材)
フランス向け欄間製品等の販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> 現地ニーズの把握と製品の試作 フランス向け販促活動 	欄間技術を用いた新商品開発プロジェクトチーム ((株) 岡本銘木店)
台湾向け製材品の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> 現地ニーズの把握調査 現地展示会への出展・PR バイヤーの招聘と商談活動 	宮崎県木材協同組合連合会

上記のモデル事業の実施については、新型コロナウイルス感染症により、当初の実施計画が大きく影響を受けたため、各実施グループの実情やレベルに応じた多面的な支援を行い、事業目的の達成に努めた。

また、令和3年3月19日(金)に、本事業の取組成果の共有や波及効果を図るための成果報告会を開催するとともに、当協会のウェブサイトにも各モデル的取組の実施報告を掲載した。

(2) 日本産木材・木材製品の普及・PR 事業

新たな輸出先国の開拓に向け、モデル住宅等を活用したPR活動、海外の建築士等を対象としたセミナー、講習会の開催などの輸出促進活動を以下のとおり実施した。

① 米国での「日本産木材製品利用促進セミナー」の開催

米国向け日本産木材製品利用促進セミナーの代替活動の実施結果

実施内容	米国向け日本産木材製品利用促進セミナーで講演予定であった講義 PPT の配信
掲載開始日	令和3年1月18日
掲載先	以下の2つのウェブサイトより掲載配信を実施。

ウェブサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・国際木文化学会 (International Wood Culture Society) ウェブサイト http://www.iwcs.com/newsContent.cfm?id=102 ・Woodculture.org ウェブサイト http://www.woodculture.org/content.cfm?id=516 																
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ① テーマ：「焼スギの特徴」 (英題：「Characteristics of Yakisugi」) 講師：糸谷 吉行 (中本造林株式会社) ② テーマ：「インテリア茶室」 (英題：「Interior of Tea-Ceremony Room」) 講師：市川 千里 (株式会社 花弁木工) ③ テーマ：「北海道産シナ・白樺材の特徴」 (英題：「Characteristics of Shina from Hokkaido and Shirakaba」) 講師：瀧澤 貴弘 (滝澤ベニヤ株式会社) ④ テーマ：「日本の木の文化及び木育活動」 (英題：「Japanese Wood Culture and Promotional Activity for Education of Wood」) 講師：高橋 由貴子 (一般社団法人日本木文化学会) ⑤ 動画：「Characteristics of Yakisugi, presented by Nakamoto Forestry」 動画提供者：中本造林株式会社 																
ウェブサイト アクセス数 集計	<ul style="list-style-type: none"> ・国際木文化学会 (International Wood Culture Society) ウェブサイト <table border="1" data-bbox="459 1317 970 1541"> <tr><td>ユーザー数</td><td>17,861</td></tr> <tr><td>セッション数</td><td>20,093</td></tr> <tr><td>ページビュー</td><td>9,614</td></tr> <tr><td>ダウンロード数</td><td>3,927</td></tr> </table> ・Woodculture.org ウェブサイト <table border="1" data-bbox="459 1585 970 1809"> <tr><td>ユーザー数</td><td>10,493</td></tr> <tr><td>セッション数</td><td>15,527</td></tr> <tr><td>ページビュー</td><td>5,013</td></tr> <tr><td>ダウンロード数</td><td>2,768</td></tr> </table> 	ユーザー数	17,861	セッション数	20,093	ページビュー	9,614	ダウンロード数	3,927	ユーザー数	10,493	セッション数	15,527	ページビュー	5,013	ダウンロード数	2,768
ユーザー数	17,861																
セッション数	20,093																
ページビュー	9,614																
ダウンロード数	3,927																
ユーザー数	10,493																
セッション数	15,527																
ページビュー	5,013																
ダウンロード数	2,768																

② 中国での「日本木材製品利用促進セミナー」の開催
以下のとおり開催した。

中国向け日本木材製品利用促進セミナー（広州）の開催結果

開催日時	令和2年12月4日（金） 現地時間 13:30～16:30
会場	広州保利世貿博覧館 3号館 会議エリア
プログラム	<p>開会挨拶</p> <p>講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・木質・生活—日本高耐久木質製品利用事例 唐 天讓（越井木材工業株式会社 中国市場開拓部 営業マネージャー） ・スギ・ヒノキの内装利用事例 李 鷗（株式会社ウッドリー 代表取締役） ・名スギ貴ヒノキ：スギ・ヒノキの利用 鞠 暁輝（中国木材株式会社 業務担当） <p>質疑</p>
参加者数	現地関係者等 122 名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者数：57 名（回答率 46%） ・今回のセミナーに参加する価値があったとの回答：96% ・日本のスギ・ヒノキ製品は中国において普及価値があると回答：84%

中国向け日本木材製品利用促進オンラインセミナーの開催結果

開催日時	令和3年3月1日（金） 現地時間 13:00～16:30
日本側の会場	リロの会議室 会議室G（新宿区揚場町2-14 新陽ビル 4階）
Web 会議ツール	VooV Meeting
プログラム	<p>講演（各講義 講演時間 40 分、質疑応答 10 分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演Ⅰ：製材の JAS 概要及び輸出向け仕様の協会規定 加藤 英雄（森林総合研究所 主任研究員） ・講演Ⅱ：日本市場における製材材質の流通上の等級分け 竹久 正（院庄林業株式会社 常務取締役） ・講演Ⅲ：藍染建材の良さと利用事例 小濱 利郎（大和木材株式会社 専務取締役） ・講演Ⅳ：日本の組子のデザインと事例 佐田 時信（株式会社佐田建美 代表取締役）
参加者数	現地関係者 55 名（申込者数 209 名）

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者数：45名 ・今回のセミナーに対する良い評価：91% ・今後、講師によるセミナー情報や日本企業との商談を希望するか：84%
-----	--

③ 韓国での「日本木材製品利用促進セミナー」の開催

新型コロナウイルス感染症拡大により、代替活動として以下のとおり実施した。

韓国向け日本木材製品利用促進セミナーの代替活動の実施結果

実施内容	<p>以下の方法により、日本産木材製品をPRする講演資料を配信</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コリアビルドオフィシャルサイトへの掲載による配信（ネット上での閲覧、ダウンロード） 2) 4つの講演PPT資料のPDF版を現地木材関係者50名以上へメール配信 (実施日：2021年2月25日)
掲載開始日	令和3年2月26日
掲載先 ウェブサイト	<p>コリアビルドオフィシャルサイト</p> <p>掲載サイト：http://koreabuild.co.kr</p> <p>掲載ページ：http://koreabuild.co.kr/kintex/event/japan-wood-seminar/</p>
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ・製材の JAS 概要及び輸出向け仕様の協会規定 加藤 英雄（森林総合研究所 主任研究員） ・日本市場における製材材質の流通上の等級分け 竹久 正（院庄林業株式会社 常務取締役） ・日本の合板利用 神谷 文夫（セイホク株式会社 技師長） ・木質構造の耐久性 佐藤 雅俊（東京大学 名誉教授）
ウェブサイト 閲覧者数	1,803名（開始日から3月8日まで）
メール数	15,032名

④ 中国での「モデル住宅・モデルルーム見学会」の開催

北京、上海、大連で以下のとおり開催した。

モデルルーム見学会（中国・成都）の開催結果

開催日時	令和2年12月18日（金） 現地時間 10:00-12:30
開催形式	オンラインによるライブ配信 + リアル開催、および事後配信
会場	「怡心和室」（成都市双流区劍南大道一段79：レッドスター天府一号店F8015号）
プログラム	<p>1. あいさつ 日本木材輸出振興協会</p> <p>2. 「怡心和室」の概要説明 費 強（成都怡心和室裝飾工程有限公司 総経理）</p> <p>3. モデルルームの見学体験・意見交換 邱 暉（株式会社ウッドリー 課長）</p>
参加者数	<p>開催時の参加者数：1,968名</p> <p>3月26日までの視聴者数：2,343名</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者数：18名 ・今回のモデルルーム見学会に参加する価値があった：100% ・モデルルーム見学会のライブ体験活動に対する良い評価 94% ・日本の内装材製品と技術は中国市場で普及PR促進をするに値するか： <ul style="list-style-type: none"> 1) 茶室・和室：100% 2) スギ・ヒノキの内装材・装飾品：94%

モデルルーム見学会（中国・上海）の開催結果

開催日時	令和3年1月18日（月） 現地時間 10:30-12:00
開催形式	オンラインによるライブ配信 + リアル開催、および事後配信
会場	<p>上海 環東華創意園 1階 C座106室 モデルルーム 「KOSHII LIFE」</p> <p>（長寧区楊宅路258号 ← 地下鉄3号/4号/10号線 虹橋駅 3号出口 徒歩680 m）</p>
プログラム	<p>1. あいさつ 日本木材輸出振興協会</p> <p>2. モデルルーム「KOSHII LIFE」におけるブランド「越秀木」の概要説明 唐 天讓（越井木材工業株式会社 営業マネージャー）</p> <p>3. 高品質内外装材製品の利用事例の説明 姚 国銳（上海井秀建材科技有限公司 総経理）</p> <p>4. 総合質疑</p>

参加者数	開催時の参加者数：1,209名 3月26日までの視聴者数：1,516名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者数：21名 ・今回のモデルルーム見学会のライブ体験を評価する：95% ・内装・外装材に係る木造建材製品や技術の情報取得に役立った：90% ・中国における日本現地法人の木材製品の普及促進の取組を理解するのに役立った：90%

「モデル住宅見学会（中国・大連）」の開催結果

開催日時	令和3年1月28日（木） 13:30-16:00（現地時間）
開催形式	オンラインによるライブ配信 + リアル開催、および事後配信
会場	大連・瓦房店 西郊工業区 大連双華永欣木業有限公司内日本木造住宅展示パーク
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 日本木材輸出振興協会 2. モデル住宅「和邸」、「和宅」の設計、材料利用、施工の概要説明 陳 志堅（大連双華木構造建築工程有限公司 総経理） 3. 内外装及び家具への日本産木材の利用説明 陳 志堅（前出） 4. 総合質疑
参加者数	開催時の参加者数：3,515名 3月26日までの視聴者数：3,887名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者数：22名 ・今回のモデルルーム見学会に参加する価値があった：100% ・今回のモデルルーム見学会のライブ体験は良かったか：100% ・日本の構造材は中国市場で普及PR促進をするに値するか。またその対象は： （複数回答可） <p>1) プレカット材：63% 2) 内装材・外装材：59% 3) 木材製品：54%</p>

⑤ 韓国での「モデル住宅・モデルルーム見学会」の開催代替活動として以下のとおり実施した。

ソウルモデルルーム見学会の開催結果

実施内容	<p>・ソウルモデルルームにおけるヒノキ等木材利用状況等に関する動画1式(10min程度)を撮影・製作</p> <p>・上記動画の코리아ビルド公式 You Tube への掲載配信</p> <p>・코리아ビルドの Newsletter を通じた掲載配信についての告知 PR (告知 PR 実績)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">PR PROJECT</th> <th style="width: 15%;">発送日</th> <th style="width: 15%;">発送数 実績</th> <th style="width: 15%;">オープン数</th> <th style="width: 15%;">CLICK 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021 INTERIOR DESIGN KOREA NEWSLETTER</td> <td>令和3年 1月1日</td> <td>56,890</td> <td>3,113</td> <td>568</td> </tr> <tr> <td>2021 KOREA BUILD NEWSLETTER</td> <td>令和3年 1月17日</td> <td>313,066</td> <td>19,048</td> <td>5,021</td> </tr> </tbody> </table> <p>・動画の配信情報に関して韓国内の木材&木造等関係者 100名以上へのメールリング(2021年1月29日までに)</p>	PR PROJECT	発送日	発送数 実績	オープン数	CLICK 数	2021 INTERIOR DESIGN KOREA NEWSLETTER	令和3年 1月1日	56,890	3,113	568	2021 KOREA BUILD NEWSLETTER	令和3年 1月17日	313,066	19,048	5,021
PR PROJECT	発送日	発送数 実績	オープン数	CLICK 数												
2021 INTERIOR DESIGN KOREA NEWSLETTER	令和3年 1月1日	56,890	3,113	568												
2021 KOREA BUILD NEWSLETTER	令和3年 1月17日	313,066	19,048	5,021												
掲載開始日	令和3年1月27日															
配信先	코리아ビルド公式 You Tube https://www.youtube.com/watch?v=Cx2fuhlVUQg															
配信内容	<p>1. ヒノキ等木材利用状況等に関する動画の撮影・製作</p> <p>第1部 動画1(ヒノキ製品の製造工程や工場状況等についての紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒノキの長所 ・よいヒノキの選び方 ・ヒノキ使い方 ・節の有無と品質の関係 <p>第2部 動画2(ヒノキの内装、住宅内の使い方等についての紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インテリアの状況 ・ヒノキ素材のメリット 															
動画視聴者数	2,380名(3月18日時点)															

(3) 輸出規格環境整備・設計施工マニュアル作成事業

韓国及び米国への木材製品輸出のための規格整備に向けた調査・検討の結果を取りまとめ、報告書(230部)の印刷・配布、「韓国の木構造の設計・施工者向け 木

造軸組構法：設計と施工の手引」(日本語版、韓国語版各70部)の印刷・配布、及び、本協会のウェブサイトへの掲載を行うとともに、オンライン参加対応型の成果報告会を以下のとおり開催し、情報の提供・共有に努めた。

成果報告会(オンライン対応型)の開催結果

日時	令和3年3月18日(木) 13:30 - 16:00
会場	TKP 飯田橋ビジネスセンター カンファレンスルーム(東京都新宿区)
プログラム (敬称略)	<p>1. 開会挨拶 主権者挨拶：吉野 示右 日本木材輸出振興協会 事務局長 来賓挨拶：長野 麻子 林野庁林政部木材利用課 課長</p> <p>2. 成果報告</p> <p>① 米韓の住宅用構造材等木材製品の品質基準等調査の概要 長尾 博文 (森林総合研究所 評価担当チーム長)</p> <p>② 韓国向け木造軸組技術マニュアルの概要 青木 謙治 (東京大学 准教授)</p> <p>③ 韓国における木造住宅の設計及び施工の問題点 園田 真吾 (都築木材株式会社 長野支店長)</p> <p>3. 質疑応答</p> <p>4. 閉会</p>
参加者数	51名
アンケート調査状況	回収数：16(回収率：31.4%) 役に立ったとの回答：87.5%

3. 木材製品等の輸出促進対策事業(令和元年度林野庁補助事業(補正)、繰越)

(1) 日本産木材製品の展示・PR及び情報収集・提供

① 見本市へのジャパンパビリオンの出展・PR

ベトナム、中国、台湾で開催された展示会に「ジャパンパビリオン」を設置し、国産材輸出に取り組む事業者等と連携して、スギ、ヒノキ、カラマツ等日本産木材を使用した品質・付加価値の高い内装材や家具・建具等木材製品等を出展するとともに、出展に合わせた広報宣伝を効果的に実施することにより、日本産木材製品の認知度の向上や商機作りに努めた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により渡航ができないため、代替活動として、マレーシア、シンガポールにおける「Japan Wood Gallery」をそれぞれ設けて

独自の展示・PR活動を行った。

② 日本木材製品展示施設を活用した展示・PR

ホーチミン、台北にある日本木材製品展示施設「ジャパン・ウッド・ステーション」を活用した展示・PR活動は以下のとおり。

ジャパン・ウッド・ステーションを活用したプロモーション活動の実施結果

活動項目	目標	実績	
		ジャパン ウッド ステーションホーチミン	ジャパン ウッド ステーション台北
来訪者への対応、展示製品等の説明	350名以上	377名	15,416名
現地業者への訪問販促（現地の関係業者を訪問し、展示製品等の紹介や意見交換）	50社以上	13社 （コロナ禍でその以上の訪問ができず、電話等による展示製品の紹介や意見交換を多数実施）	148社
ベトナム、台湾関係業者等向けの相談、仲介活動	30件以上	291社 成約件数：8件 成約金額：8,600万円	38社 成約件数：5件 成約金額：1,100万円
木材市場、業界、流通等に関する情報の収集、提供			
情報レポート回数	3回	3回： ・ ベトナムの木材産業の近況 ・ ベトナムの木材関連輸出入の状況 ・ コロナ禍下のベトナム木材産業並びに諸展示活動の状況	3回： ・ 台湾木建築産業 2020 夏季フォーラムの開催状況(1) ・ 台湾木建築産業 2020 夏季フォーラムの開催状況(2) ・ 2021 日本 CLT 実務講習会の開催状況
メーリング配信者数	150	170	170

③ 海外における「日本木材製品利用促進セミナー」の開催
以下のとおり開催した。

台湾向け日本産木材製品利用促進セミナーの開催結果

開催日時	令和3年1月19日(火) 15:00~18:30
開催方法	オンライン開催
プログラム	(1) 講演(質疑含む) <ul style="list-style-type: none"> ➤ 木造軸組住宅の現状と展望(青木 謙治) ➤ 中大規模木造建築及びCLT利用の現状と可能性(青木 謙治) ➤ 日本の合板利用の現在とこれから(神谷 文夫) ➤ 日本の建具関連製品の利用状況(佐田 時信)
参加者数	台湾木材木造関係者等32名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アンケート回答者数:9名 ➤ セミナーに対する満足度:100% ➤ 日本企業と商談希望:88.9%

ベトナム向け日本産木材製品利用促進セミナーの代替活動の実施結果

掲載日開始日	令和3年1月18日
掲載サイト	Vietnam Timber and Forest Products Associationのウェブサイト: http://vietfores.org/ 掲載ページ: http://vietfores.org/tin-tuc/dac-diem-xuat-khau-go-nhat-ban-vao-thi-truong-viet-nam/
掲載内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 利休と建築～調和と融合～(素朴屋株式会社) ➤ CLTの利用事例について(株式会社サイプレス・スナダヤ、愛媛県農林水産部森林局 林業政策課 木材流通戦略係) ➤ 日本の中層・大規模木造建築(日本木材輸出振興協会) ➤ 日本木材のベトナム向け輸出特徴及びスギ、ヒノキの概要(同上)
掲載効果	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ユーザー数:123 ➤ ダウンロード数:50
メーリング配信	メーリング先111件
郵送配信	50件

④ 広報媒体を通じた PR

ベトナム、シンガポール、マレーシア、中国、台湾の木材・建材、内装材、家具・建具、輸入、卸小売、設計、建築関係者等の視点から、カラー広告、企画記事を現地の専門誌にそれぞれ掲載した。

また、タイトル「ヒノキとスギ」の動画（中国語簡体字版、12画面、カラー、mp4方式、音楽つき、1 min49 sec）を制作し、ウェブサイト「木材王国網」に2020年5月15日から掲載し、日本産スギ、ヒノキの製品の良さ、利用方法、利用事例等をアピールした。

(2) バイヤーの招聘および商談会の開催

① バイヤーの招聘を通じた輸出商機の創出

新型コロナウイルス感染症の影響により招聘ができなかったため、中国、台湾、ベトナムバイヤーの招聘による PR の代替活動として、当初予定のバイヤーを含む中国（12社）、台湾（11社）、ベトナム（8社）に対し、国内の産地・工場等の概要、パンフレット、動画等などのデジタル情報をとりまとめて提供し、輸出商機の創出や取引商談のサポートに寄与する製品・技術の PR を行った。

また、当初計画の国内における「日本木材製品輸出促進セミナー」は、オンラインセミナーに代替して実施した。

② 商談会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により台湾、中国、ベトナムとの往来ができなかったため、当初予定していたバイヤー招聘に伴う国内、相手国・地域でのマッチング商談会のリアル開催は、オンライン開催にきりかえ計6回（各回2日間）実施した。

4. 日本産農林水産物・食品海外販路開拓緊急支援事業（令和2年度農林水産省補助事業（補正））

本事業は付加価値の高い国産材製品の輸出拡大を図っていくため、中国を対象に、日本産木材製品のPRや商品価値を高めるためのPR・キャンペーン活動として、①中国の木構造関連標準・手引対応型非住宅軸組構造モデルの構築による日本産木材製品のPR、②日本産木材製品・木造技術現場見学会の開催、③日本産木材製品説明会の開催に合わせ、海外販路の拡大を目指す販売促進活動としてマッチング商談会を2回開催することになっている。令和2年度（令和2年11月24日～令和3年3月31日実

施分)は、中国の木構造関連標準・手引対応型非住宅軸組構造モデルの構築のためのモデル設計を完成したが、それ以外の活動は次年度に繰越された。

5. 分野・テーマ別海外販路開拓支援事業のうち分野・テーマ別の PR 活動・販売促進活動推進事業（農林水産省補助事業）

(1) 分野・テーマ別の PR 活動

① ジャパンパビリオンの出展による PR

中国・北京で開催される「第 19 回中国国際住宅産業博覧会」に「ジャパンパビリオン」を設置し、国産材輸出に取り組む事業者等と連携して、スギ、ヒノキ、カラマツ等日本産木材を使用した品質・付加価値の高い木材製品、住宅部材等を出展するとともに、出展に合わせた広報宣伝を効果的に実施することにより、日本産木材製品の認知度の向上や商機作りに努めた。出展結果は以下のとおり。

- ・ パビリオンの来場者：5,450 名
- ・ カタログ配布数：出展企業配布 1,841 部、本協会配布 3,120 部
- ・ サンプル配布数：出展企業配布 99 個、本協会配布 330 個
- ・ 実演回数：353 回
- ・ 名刺交換数：586
- ・ 動画の上映（3 日間）
- ・ 来場者の相談対応
- ・ 出展効果を図る広報活動（事前企画記事、事後体験記事の掲載による PR）
- ・ 商談件数：639、確実な商談件数：58、継続商談件数：116、令和 3 年 2 月 26 日までの成約件数：12（うち成約見込件数 3）、成約金額 350 万円（うち成約見込金額 200 万円）、今後継続商談件数：3

韓国の「KOREA BUILD 2021」への出展は、開催時期が延期されたため、別途「Japan Wood Gallery（韓国）」を設け、独自の展示・PR 活動の実施に切り替えた。

② 韓国、中国バイヤーの招聘による PR 及びセミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の影響により渡航ができなかったため、バイヤーの招聘による PR の代替活動として、韓国対象バイヤー 7 社、中国対象バイヤー 10 社に対し、国内の産地・工場等の概要、パンフレット、動画等などのデジタル情報をとりまとめて提供し、輸出商機の創出や取引商談のサポートに寄与する製品・技術の PR を行った。また、バイヤー向けの情報提供の質的向上や情報提供の効果分析を図るため、情報提供を受けたバイヤーから情報提供評価アンケートを回収

した。

また、当初予定のバイヤーの招聘に伴う国内でのセミナーの開催に代わりに、木材輸出に取り組み事業者等を対象とした「日本木材製品輸出促進セミナー」のオンライン開催を以下のとおり行った。

韓国向け日本産木材製品輸出促進セミナーのオンライン開催結果

開催日時	2021年2月22日(月) 東京時間 13:30~17:00
開催方法	オンライン開催
プログラム	<p>講演(質疑を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 韓国の家具マーケットで好まれる日本産ヒノキ KI, WON GAN (Internation Hinoki trade center 社長) ▶ 韓国への日本木材輸出活性化の方案 CHOI, WON CHUL (CHAEWOORIM 代表取締役) ▶ 韓国の木材輸入と木材流通の事情 KIM, BYUNG CHAE (KPCC General Manager) ▶ ヒノキ等日本産木材に対する韓国の需要と家具・インテリア資材への活用 LEE, HAK-YONG (PYEON BAEK MARI CO., LTD 代表取締役)
参加者数	国内木材木造関係者等 32名
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アンケート回答者数: 19名(回答率 59%) ▶ セミナーに対する満足度: 100% ▶ 韓国側企業(講師の所属企業を含む)との商談の希望: 10名(53%)

中国向け日本産木材製品輸出促進セミナーのオンライン開催結果

開催日時	2021年2月24日(水) 東京時間 14:00~18:30
開催方法	オンライン開催
プログラム	<p>講演(質疑を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国における木構造の発展状況及び日本産木材製品と技術のポテンシ ャル性」 関 澤利(南京林業大学 教授) ▶ 中国の木構造における集成材の利用現状と事例 簡 詩文(上海融嘉木造建築工程有限公司 総経理) ▶ 貴州のP&B構造建築の発展状況と特徴

	<p>周 光志（貴州凱欣産業投資股份有限公司 設計センター副主任）</p> <p>→ 中国の木質建材発展における必要性と展望</p> <p>朱 光前（中国木材・木製品流通協会 首席専門家）</p>
参加者数	国内木材木造関係者等 33 名
その他	<p>→ アンケート回答者数：18 名（回答率 55%）</p> <p>→ セミナーに対する満足度：95%</p> <p>→ 韓国側企業（講師の所属企業を含む）との商談の希望：14 名（78%）</p>

③ 中国「木構造設計手引」への提案取組を通じた木材・木造販路拡大 PR 活動

中国「木構造設計手引」関連提案・協議ワーキング会議を開催したほか、専門家等の助言を踏まえ、提案関係技術資料として、「木造軸組構法施工技術図集」（中国語版）を作成した。また、日本木材・木造建築等の PR を図るため、図集を 2,000 部印刷し、「木構造設計手引」改編委員会の委員、主な建築設計院、設計事務所、設計・施工関連企業等に配布した。

（2）分野・テーマ別の販売促進活動

本協会の構成員や木材産地・輸出に取り組む事業者と連携し、当初予定のリアル商談会に代え、韓国向けのオンライン商談会を 2 回、中国向けを 1 回開催した。このため、開催前に商談関係の諸調整、商談参加双方企業募集関係資料の作成、公募、審査・選定、商談意向のヒヤリング、商談シートの作成・提供を行い、また、商談後のフォローアップ活動などを行った。

6. 輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業（令和元年度農林水産省補正）

（1）重点分野・テーマ別の PR 活動

① ジャパンパビリオンの出展による PR

フランス、米国、ドバイ、インドの展示会は延期等となったため、ジャパンパビリオンの出展による PR は、代替活動として、それぞれ「Japan Wood Gallery」を設け独自の展示・PR 活動を実施した。

② インドにおける日本木材製品利用促進セミナーの開催

代替活動として、講演資料の現地「Wood News」ウェブへの掲載を通じた配信を以下のとおり行った。

掲載内容	・ BEAUTY ROOTED IN SOMETHING DEEPER (中本造林 (株)) 焼杉
	・ INTERIOR OF TEA-CEREMONY (花升木工) 茶室
	・ JAPANESE WOOD CULTURE AND PROMOTIONAL ACTIVITY FOR EDUCATION OF WOOD (日本木文化学会) 木育と日本の伝統工芸
	・ CHARACTERISTICS OF SHINA FROM HOKKAIDO AND SHIRAKABA (灌沢ベニア (株)) 北海道産シナと白樺の特徴
掲載ウェブサイト	ウェブサイト : http://woodnews.in/index.php サイト内のページ : http://woodnews.in/japan-wood.html (国際木工・家具サプライヤー雑誌協会 (AFSM) に認定されたインド唯一の木工雑誌 Wood News のウェブサイト)
掲載開始日	2021年3月1日

③ EUバイヤーの招聘による PR 及び国内向けセミナーの開催による情報提供事業の実施計画では、EU のバイヤーを招聘して、産地・工場製品現場の見学・意見交換を実施することになっていたが、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、バイヤーの来訪がかなわず、上記目的を図るため以下の情報を EU 対象バイヤー3社（報告書提出日時点）に対し、国内の産地・工場等の概要、パンフレット、動画等などのデジタル情報（PR パンフレット等2式、動画4式）をとりまとめ、提供し、輸出商機の創出や取引商談のサポートに寄与する製品・技術の PR を行った。

また、当初予定のバイヤーの招聘に伴う国内でのセミナーの開催に代わりに、国内の EU 向け取組者等に向けて「欧州地域等における木材製品の植物検疫条件や流通・販売規制等調査報告書（平成30年度林野庁第2次補正）」等関連情報の提供に努めた。

（2）重点分野・テーマ別の販売促進活動

① 国内における EU 向けマッチング商談会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響で EU バイヤーの来日はできなかったが、EU 向け商談会のオンライン開催を目指して諸準備を進めたところ、日程調整がつかなかった等のためオンライン開催を断念し、EU 向けの輸出意欲がある日本企業3社（報告書提出日時点）の輸出データシートを予定バイヤーに提供することとした。

第2 総務に関する事項

1 理事会について

第1回理事会

開催日：令和2年6月15日（書面審議による理事会）

議 事：

- (1) 令和元年度事業報告書（案）について
- (2) 令和元年度決算報告書（案）について
- (3) 理事候補者の推薦について
- (4) 定時総会の開催日時、場所、議題等について

報告事項

- (1) 令和2年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について

第2回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和3年2月1日

議 事：

- (1) 会長の選任について

第3回理事会（書面審議による理事会）

開催日：令和3年3月30日

議 事：

- (1) 令和3年度事業計画書（案）について
- (2) 令和3年度収支予算書（案）について

2 定時総会について

開催日：令和2年6月29日

議 事：

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和元年度決算報告について
- (3) 理事の選任について

報告事項

- (1) 令和2年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について